

奈良県中央卸売市場の再整備

(市場と一体となった「食」をテーマとした新たな賑わいゾーンの創出)

【担当省庁】 農 林 水 産 省

奈良県の中央卸売市場再整備の考え方

- 卸売機能(BtoB)の効率化・高機能化に加え、市場の立地や歴史を活かした「食とともに文化・スポーツを楽しむ」華やかで賑わいのある複合拠点(BtoC)の整備を推進
- 魅力ある卸売市場にするために、県産食材の取扱強化や、それらを活用した「奈良市場ブランド」の創出、インターチェンジの結節点に位置する立地を活かした中核的物流拠点としての整備を推進
- BtoCには、「食べる」「買う」だけでなく、食材や食文化に関することを「学ぶ」と同時に「遊ぶ」ことができるフードホール(イーターリーの実現)や子ども広場、「食」をはじめとした様々なイベントに活用できる多目的ホール、宿泊施設などの整備を計画
- 2019年9月に、「奈良県中央卸売市場再整備基本計画」を策定
- 再整備にあたっては、BtoB、BtoCそれぞれに民間活力の活用を図るPFI事業等の導入を検討。

○卸売機能の効率化・高機能化(BtoB)

市場の基本機能を強化し、ブランド力向上・安全安心の確保を図る

- ①川上・川下に対するコーディネート機能の強化
 - ②安全・安心を確保するためのコールドチェーン(低温流通)への対応
 - ③奈良市場ブランドの創出
- ※中核的物流拠点を併せて整備

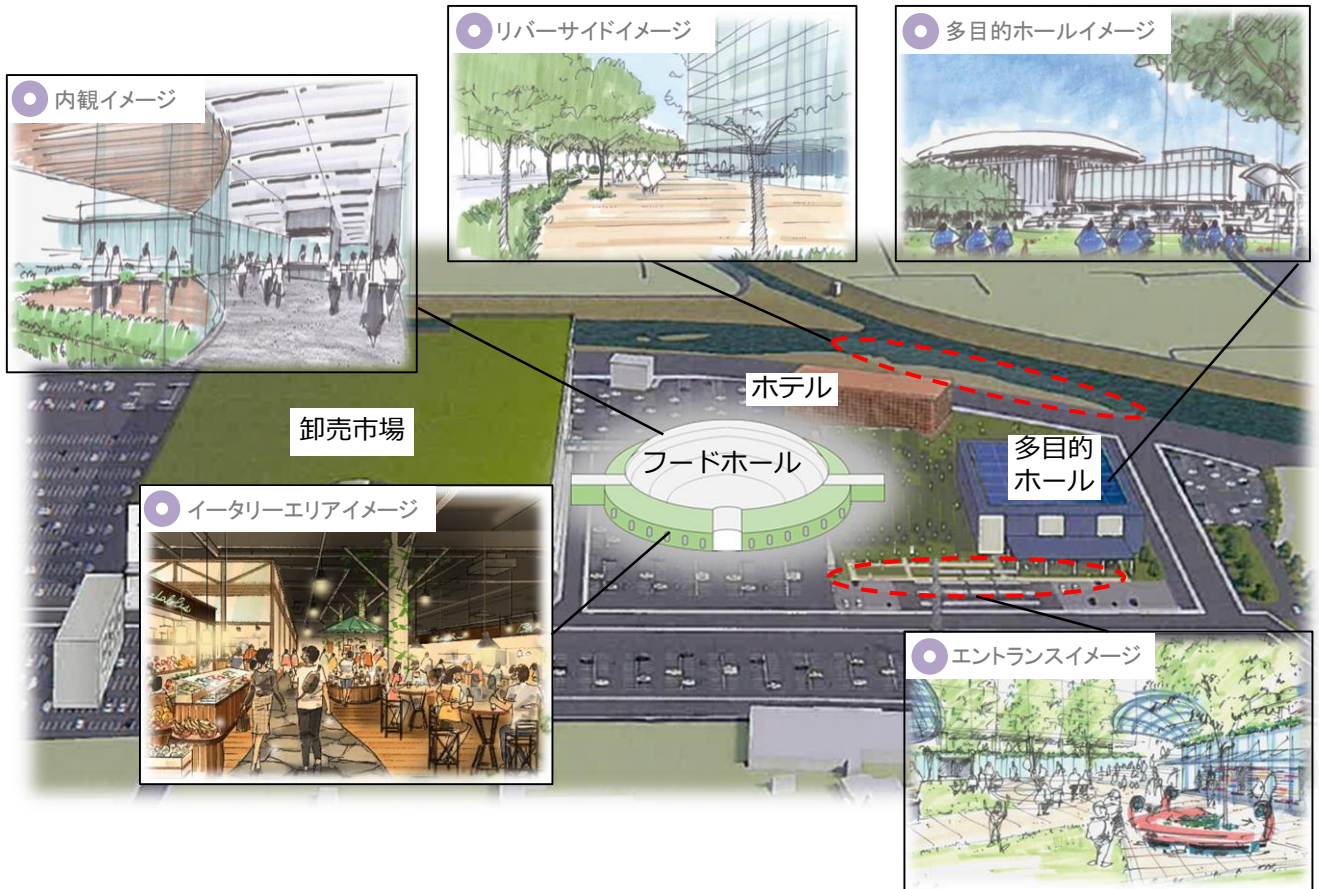


○一般消費者を対象とした機能の整備(BtoC)

県民や観光客が訪れる華やかで賑わいのある食材の販売と食を楽しめる拠点づくり

- ①卸売市場のスリム・コンパクト化による余剰地の活用
- ②フードホール、多目的ホール、宿泊施設誘致、遊歩道等周辺環境整備
- ③BtoBとの連携による相乗効果の発揮

【中央卸売市場再整備のイメージ】



国にお願いすること

中央卸売市場の再整備に対し、「強い農業・担い手づくり総合支援交付金」の予算確保及び事業採択をお願いしたい。

- **BtoB**として、卸売市場の機能の高度化を図るため、閉鎖型施設による品質・衛生管理体制の構築等を計画しており、2020年度から事業者公募、2022年度から基本設計、2023年度から実施設計を予定している。

【要望】

「強い農業・担い手づくり総合支援交付金」において、**予算確保及び事業採択**をお願いしたい。

- **BtoC**として、市場機能と相乗的な効果が得られる農産物の飲食販売等を行う集客施設を一体的に整備し、華やかで賑わいのある食の拠点づくりを進める。

【要望】

農山漁村振興交付金において、**対象地域としての取扱い**をお願いしたい。